

關稅定率法中改正法律案特別委員會會議事速記第一號

委員氏名

委員長 服部 一三君
副委員長 男爵船越 光之丞君
委員 伯爵柳澤 保惠君
子爵前田 利定君
男爵村上 敬次郎君
黑岡 帶刀君
荒井 賢太郎君
男爵小早川 四郎君
男爵赤松 範一君
男爵郷 誠之助君
加藤 恒忠君
菅原 通敬君
石橋 謹二君
佐藤 傳兵衛君
成清 信愛君

大正十年二月二十四日(木曜日)午後三時七分開會

○委員長(服部一三君) 是カラ開會シマス

○政府委員(神輿常孝君) 今日茲ニ關稅定率法中改正法律案ノ大體ノ御説明ヲ一應イタシマス、此關稅

定率法ハ此度改正ヲ致シマシタノハ、ソレハ殆ド議場

デ御説明デアリマシタノデスガ、其主ナル點ハ鐵事

業ト云フモノニ對シテノ保護、獎勵ヲ圖ルト云フノ

ガ先ヅ最モ主ナル點デアリマス、次ニ造船事業ニ對

スル獎勵ト云フノガゴザイマス、尙ホ之ニ伴ヒマシ

テ亞鉛ト曹達ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、是

ハ此意見ヲ特別議會ノ時ニ衆議院ニ於テモ又貴族院

ニ於キマシテモ調査ガ出來タナラバ成ルベク速ニ改

正案ヲ提出シテ、其事業ノ維持發達ヲシヤウト云フ

御希望ノ條件ガ付テ特別議會ノ際ニ改正案ヲ提出ヲ

致シマシテ通過イタシマシタ際ニサウ云フ希望條件

モ付テ居リマス、サウ云フモノニ對シテ政府ハ取急

ギ調査イタシテ今日ソレモ合セテ提案ニナツテ居リ

マス、其外尙ホ是等ノモノヲ改正イタシマスニ付テ
尙ホ他ニ之トノ關係品デアルトカ、或ハ又之ニ附隨
イタシテ他ニ二三改正ヲ致シタ點モアルノデアリマ
ス、是ハ尙ホ順序ヲ逐ヒマシテ説明ヲ致シタイト思
ヒマス、大體ノ斯ウ云フ意味ノ法案デアリマス、ソレ
デ關稅定率法ト云フモノハ明治四十四年以後只今ノ
現行法ガ實施シテ居リマスノデアリマス、何分ニモ
此以前ノ法律デゴザイマシテ、大體ニ於キマシテ重
量デアリマス、詰リ百斤幾ラト云フヤウナ重量制ガ
主モニナツテ居リマス、所ガ其後ニ於キマシテ、物價ノ
奔騰ト云フコトガ甚ダ著シイモノガゴザイマシテ、
大體カラ申シマシテ、今ノ狀況カラ見テ此法律ガ適
合シナイ點ガアルヤウニ、各種ノ點ニ於テ見エテ居
ルノデアリマス又内地ノ産業狀態、海外トノ貿易關
係ト云フヤウナモノモ、段々時勢ガ變テ參ッテ居リ
マスデ是ハ早晚何トカシナケレバナルマイト云フヤ
ウナコトハ政府モ豫テ考ヘテ居ル點デハゴザイマス
ケレドモ、何分ニモ全般ニ互ッテ改正イタシマスト云
フコトニナリマス、御承知ノ如ク、品目ガ非常ニ
多數ナモノデゴザイマシテ、調査ニ相當ニ時日ヲ要
シマス、又物價ノ關係等ガマダドウモ安定シテ居
ルト云フヤウナ狀態ニ至テ居リマセヌ關係カラ、之
ヲ此際直グ提案スルト云フマデノ運ビニハ至ッテ居
リマセヌノデアリマス、併シナカラ前申シマシタヤ
ウナ風ニ戰時中ヨリ大ニ勃興シテ居ッテ、折角勃興シ
テ居ッテ事業ガ平和ノ狀態ニ這入ッテ甚ダシク打撃ヲ
受ケテ居ル、併シ是ハ何トカシテ今殘ッテ居ルモノダ
ケデモ、維持シタイ、又將來發達スル見込ノアルモノ
ハ、ソレガ發達スルヤウナ方法ヲ取ッテ行キタイト云
フヤウナコトカラ、緊急ノモノト致シマシテ、全部ノ
改正案ヲ作出スマデ待ッテ居ルト云フコトハ面白ク
ナイコトデアアル斯ウ云フ意味カラ致シマシテ、一部
分ノ改正デハゴザイマスガ、茲ニ部分的ノ改正案ヲ
提出シタヤウナ譯デゴザイマス、ソレカラ説明ノ順
序ト致シマシテ、此法律ノ大部分ハ説明表ニナツテ居

リマシテ、表ノ形ニナツテ居リマスカラ、矢張り條文ヲ
逐ッテ説明申上ゲタ方ガ却ッテ明瞭ニナルカト思ヒマ
スカラ、一應條文ヲ逐テ御話ヲ致シタイト考ヘマス、或
ハ重量ト云フヤウナ主モナル目的ヲ後ニシテ、所謂
附隨的ノモノガ前ニナルト云フヤウニ、順序ノ顛倒
スルコトガアルカモ知レマセヌガ、ドウカソレハ豫
メ御含ミヲ願ヒマス、此關稅定率法中改正案ノ一番
先ニ出テ居リマスノハ、第二條ノ改正デゴザイマス
是ハ現行稅法ニ於キマシテハ、從價稅品ハ輸入港ニ
到著シタル時ノ價格ニ依ッテ課稅スルト云フコトニ
ナツテ居リマス、御手許ニ差上ゲテアル參考書ノ初メ
ノ方ニ對照シテアリマス、是此度鐵ノ關稅ニ付キマ
シテ、從來ハ從量制ニナツテ居リマス、詰リ百斤何程
ト云フ重量制ニナツテ居リマスノヲ大體ニ於キマシ
テ從價稅ニ改メマシテ、從價一割五分限度ノ稅ヲ掛
ケルコトニナツテ居リマス、實ハ此前ノ議會ニ提案イ
タシマシタル改正案中デモ、染料ハ元重量稅デアリ
マシタモノヲ、從價稅ニ改メマシタ、是等ハ取扱ヒノ
點カラ申シマシテモ、間違ヒノナイ點カラ申シマシ
テモ、出來ルコトニナラバ重量稅ニ決メテ置ク方ガ
便利ニ思ヒマスケレドモ、併シ先刻申シマシタヤウ
ニ價格ノ變動、或ハ品質ノ相違ニ依ッテ、高イ物、安イ
物ガアル、ソレヲ小分ケヲシナケレバナラヌト云フ
ヤウナ關係カラ、差當ッテ從價稅ニシテ居ルノデアリ
マス、サウ云フ風ニ從價稅ガ澤山ニナツテ參ッタノデア
リマスガ、其從價稅ト云フモノハ、何時ノ値段ヲ標準
ニシテ課稅スルカト云フコトガ、第二條ニ決マッテ
居ッタノデアリマスガ、ソレガ輸入港ニ到著シタル時
ノ價格ニ依ッテ課稅スルコトニ決マッテ居リマスノデ
大體ソレデモ宜シイノデアリマスガ、併シナガラ、例
ヘバ今日ノ狀況ノ如キ、鐵ナドデ、去年這入ッテ來タ
物、或ハ一昨年這入ッテ來タ物ガ、其盡稅關ノ倉庫内
ニ置イテアルト云フヤウナモノガ澤山アリマス、今
後モ澤山斯ウ云フ物ガ、輸入港ニ到著シテカラ引取
ルマデニ、半年或ハ一年掛カルト云フヤウナモノガ

ゴザイマセウ、實際、輸入サレテカラ引取ラレルマデニ、隨分價格ナドガ變動スル場合ガアリマス、例ヘバ新シク這入ッタ物ト、古クカラ這入ッテ税關ノ倉庫ニアツタ物ガ、同日ニ引取ラレルト云フヤウナ場合ニ、同ジ物品ニ付テ、價格ノ異ナルト云フヤウナコトガ、段々起ツテ參ラウト思ヒマス、サウ云フ點ガ具合ガ惡イノデ、總テ實際ニ輸入手續キラスル場合ノ、其時價格ヲ目安ニシテ課税シヤウ、實際輸入手續キラシテ引取ル際ニ近イモノニ依ツテ課税スルト云フノデ、到著價格ニ依ルト云フコトニ改正シタモノデゴザイマス、ソレカラ第九條ハ、現行法ニ於キマシテハ

然ルニ「ペイント」ノ關稅ト云フモノハ、今ノ行ハレテ居ル關稅ヲ動カスコトガ出來ナイ、サウスルト云フ「ペイント」事業ガ折角成立チカケテ居ルノガ打撃ヲ受ケル、而モ此事業ノ如キハ大ニ日本デサセタイト思フテ居ル事業デゴザイマス、ソレデ一面ニ於テ亞鉛ノ精煉事業ト云フモノヲ維持スルト云フノデ亞鉛華ノ稅ヲ上ゲマスケレドモ、サウ云フ「ペイント」ヲ造ルモノハドウシテモマダ外國ノ製品タル亞鉛華ノ輸入ヲ仰ガナケレバナラヌヤウナ狀態デゴザイマス、ソレデ其原料品ニ付テハ免除スル、斯ウ云フ意味デス

手續上ニ於テハ煩瑣デゴザイマスシ、又兎モ角モ一旦其物ヲ入レマス時ハ納稅ヲ致サナケレバナラヌガ、後ニナツテ別途ノナニシテ拂戻金ヲ受ケルノデアリマス、是ガ爲メニ或ハ政府ノ都合上ナドニ於キマシテ往々ニシテ拂戻ノ手續ガ多少遅レルト云フヤウナコトモ有リ勝チノコトデ、サウ致シマスルト其金利ダケデモ大分違ッテ來ル、又手續ノ點カラシテモ兩方共簡便ニ成ルベク斯ウ云フコトハ致シタイト思ヒマス、拂戻ト云フコトヨリモ、最初ヨリ或ハ關稅ノ免除ト云フ方法ガ出來ルナラバ宜イデハナイカ、斯ウ考ヘマシテ此度ハ免除モ出來ルコトニ此法案ハ致シタ譯デアリマス、サウ致シマスルト、此結果ト致シマシテ、兎モ角モ原料品ノ輸入ヲ致シテ參リマス其時ニハ稅金ハ納メナイデ引取ルコトガ出來ル、併ナガラソレヲ引取ルニ付テソレヲ免除シマスルニ付テハソレハ、確カニサウ云フ品物ノ製造ニ使用サレタト云フコトヲ認メナケレバ、本當ニ免除ハ出來ナイ、勘辨スル譯ニハ行キマセ、所ガ關稅ノ徵收ノ方法ト致シマシテ、主トシテ物品ヲ引取ラシメマシテ、ソレニ依ツテ放シテ仕舞フト云フヤウナ關係デアリマスルカラシテ、一旦默ツテ放シテ仕舞ヒマス、後ニナツテ其稅金ヲ追徵スルト云フヤウナ點ニ付テハ、大分代價ガ違ヒマシテ非常ニ不便デアル、ソレハ一面ニ關稅ノ特徵ニナツテ居リマス、サウ云フ關係ニナツテ居リマスカラ、其免除ヲ致シマス際ニ稅金ニ相當スル擔保ヲ出サシテ置クコトニシタイト云フノ

此第三項ヲ加ヘマシタ「前二項ノ規定ニ依リ輸入稅ノ免除ヲ爲ス場合ニ於テハ輸入ノ際稅金ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得」斯ウ云フ規定ヲ新

ラシク加ヘラレタノデアリマス、サウ致シマシテ、サウ云フ風ニ第二項ニ或ハ亞鉛華デアルトカ、或ハ亞鉛ノ薄板デアルトカ、斯ウ云フ原料ヲ製造スル場合ニ、其原料品稅金ハ、今迄ハ拂戻デアッタノ今度ハ免除ノ方法ヲ用ユルト云フコトニ致シマシタト同様シタモノニハ此輸出獎勵ノ意味ヲ以チマシテ、原料品ハ一旦稅ハ取ルケレドモ是ハ外國ニ其製品ヲ輸出スレバ拂戻シテヤルト云フ法律デアリマシタノヲ、

○委員長(服部一三君) チョット間デ伺ヒマスガ、四倍高クスルト云フノハ亞鉛ニ對シテデスカ
○政府委員(神輿常孝君) 亞鉛華ニ對シテデス、又此亞鉛ノ薄板ノ方ハ是ハ先刻申上ゲマシタヤウニ燐寸ノ輸出ニ使ヒマスル包裝トシテ必要ナ品物デアリマス、從來トモソレガ爲メニ無稅ニ致シテ居リマス、今度モ亞鉛ノ事業ヲ獎勵イタシマスル爲メ、矢張りソレガ爲メニ薄板マデニ稅ヲカケルコトニナリマス、輸出燐寸ノ方ニ影響ガ多イ、此輸出燐寸ハ相當大

量出テ居リマスガ、今日デハ非常ニ悲境ニ陥ッテ居ルコト云フ狀態デアルカラ、此輸出ノ方ニ成ルベク影響ヲ及ボサセタクナイ、ソレ故ニ亞鉛薄板ノ方ハ矢張り從前ノ通り無稅ニシタラ宜カラウ、斯ウ云フヤウナコトデ亞鉛ノ薄板關稅ト云フモノハ動カサナイコトニシテ、亞鉛ハ矢張り無稅ニ致シテ居リマス、所ガサウ致シマスルト、ソレデ燐寸ノ輸出ノ方ニハ差障リハナイノデゴザイマスガ、日本デハ亞鉛ノ薄板ト云フモノハ此頃造リカケテ居ルノデアリマス、ソレデ此事業ガ、製品ノ方ハ外國品ガ無稅デ這入ッテ來ル、而シテ原料ハ今迄ヨリモ四倍ノ高イ稅ヲカケルト云フコトニナリマス、是ハ薄板ノ製造事業ト云フモノガ打撃ヲ受ケルト云フヤウナ關係ガゴザイマス、

此際ニ薄板ニ用ヒマスル原料ノ亞鉛華ノ輸入稅ハ矢張り稅金ノ拂戻若クハ免除ヲシヤウト云フ意味デ此ニ加ヘタ譯デアリマス、サウ云フコトニ致シマシテ從來モ是ハ輸入稅ノ拂戻ト云フコトニナツテ居

リマス、併シ此拂戻ト云フコトニ致シマスルト、實ハ

方ハ外國トノ競争ガゴザイマシテ、稅金ヲ上ゲルコトハ出來マセ、サウ致シマス原料ノ亞鉛華ガ高クナリマスナラバ、「ペイント」ノ方ハ……内地デ製造スル「ペイント」ノ方ハソレダケノ影響ヲ受ケマス、

ハ、輸出燐寸ノ包裝ニ使ハレルモノデ「ペイント」ノ方ハ外國トノ競争ガゴザイマシテ、稅金ヲ上ゲルコトハ出來マセ、サウ致シマス原料ノ亞鉛華ガ高クナリマスナラバ、「ペイント」ノ方ハ……内地デ製造スル「ペイント」ノ方ハソレダケノ影響ヲ受ケマス、

ハ、輸出燐寸ノ包裝ニ使ハレルモノデ「ペイント」ノ方ハ外國トノ競争ガゴザイマシテ、稅金ヲ上ゲルコトハ出來マセ、サウ致シマス原料ノ亞鉛華ガ高クナリマスナラバ、「ペイント」ノ方ハ……内地デ製造スル「ペイント」ノ方ハソレダケノ影響ヲ受ケマス、

是モ其趣意ハ少シモ變リマセヌノデ、拂戻ヲスルヨ
リハ前申シタヤウニ最初カラ關稅ヲ免除スルト云フ
方法ニ出タガ便利デアルト云フコトデゴザイマシ
タノデ、是モ亦免除ト云フコトヲ此ニ加ヘマシタノ
デアリマス其免除ト云フコトヲ加ヘマシタ關係カラ
シテ、書キ方ガ少シ變リマシタケレドモ「輸入原料品
ニシテ命令ヲ以テ指定シタル輸出品ノ製造ニ使用ス
ルモノニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ輸入税ノ全部
又ハ一部ノ免除又ハ拂戻ヲ爲スコトヲ得」ト云フコ
トニ書キ方ヲ變ヘマシタ、意味ハ同ジデアリマス、今
マデハ拂戻ニ限ッテ居リマシタガ、此度ハ免除ト云
フ方法ヲ行ヒ得ルコトニシヤウト云フコトニ致シマ
シタ、第四項ハ是ハ從來カラアリマシタ條文デゴザ
イマス、何等變タコトハナイノデアリマス、此免除
品ヲ「詐欺其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ」免除シ得テ、
サウシテ税金ノ免除ヲ得タト云フコトニナリマスル
ト、是ハ關稅法ノ第七十五條ト云フノニ、關稅ノ通脫
ヲ圖リ又ハ關稅ヲ通脫シタ者ハ是レノ制裁ヲ加
ヘルト云フ規定ガゴザイマス、其規定ヲ當然ハ適
用サレマスカラシテ免除ノ方ニ付テハ問題ハゴザイ
マセヌ、唯拂戻金ヲ得ルト云フコトハ、一旦關稅ヲ納
メマシテサウシテ後ニ別ニ拂戻金ヲ得ルト云フコト
ニナリマスレバ、不正ナ行爲ヲシテ拂戻金ヲ得タト
云フコトハ、果シテ關稅法ノ七十五條ニ申シマスル
關稅ノ通脫ヲ圖ッタモノデアルカ、通脫シタモノデア
ルカト云フ點ハ問題デアリマス、寧ロサウデハナイ、
別ノ犯則行爲デアルト云フ風ナヤウニ思フノデ、ソ
レデ從來カラモ拂戻金ヲ得タ者ハ關稅法七十五條ノ
例ニ依リ處分スルト斯ウ云フ規定ガゴザイマシタ、
是ハ今同モノノ通り拂戻ト云フコトガアツテモ動カ
ス必要ハナイノデ元ノ通りニナッテ居リマス、ソレカ
ラ次ハ第十條、此度ハ「船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用ス
ル鐵鋼材、機裝品、機裝品部分品、機關又ハ機關部分
品ニシテ命令ヲ以テ指定シタルモノニハ命令ノ定ム
ル所ニ依リ其ノ輸入税ヲ免除スルコトヲ得」斯ウ書
イテ置キマシタ、現行法ニハ「輸入製品ニシテ内國ニ
於テ製造スル船舶ニ備付ケ又ハ取付ケ輸入ノ日ヨリ
二年以内ニ該船舶ト共ニ輸出スルモノハ輸入税ヲ免

ス但シ輸入ノ際税金ニ相當スル擔保ヲ提供スルコト
ヲ要ス」ト云フ規定ガアリマシタノデ、是ハ從來内地
ノ船舶ヲ製造イタシマス際ニ、ソレニ對シテハ造船
獎勵金ト云フヤウナ制度ニ依リマシテ、其造船事業
ノ獎勵ヲ圖ッテ居リマシタ、所ガ是ハ戰爭ノ當時デゴ
ザイマシタガ、造船獎勵金ノ制度ハ止メマシタノデ、
此平和克復イタシマシテカラ、造船事業モ戰時中ノ
狀況ト大層模樣ガ變ッテ來テ居リマス、將來此造船
如何ニシテ獎勵スルカ、如何ニシテヤツテ行クカト云
フコトニ付キマシタハ、色ノ問題ニモナッテ居リマシ
タガ、大體ニ於キマシテ造船獎勵金ト云フモノヲ與
ヘルト云フコトハ無駄デアアル、又今ノ財政ノ關係カラ
言ッテモ、サウ云フモノヲ與ヘルト云フコトハドウデ
アルカト云フコトハ是ハ本會議ニ於ケル國務大臣等
ノ御答辯モアツタ次第デアリマスガ、サウ云フ意味合
ヒデ見ルト、今回造船獎勵金ノ代リニ寧ロ材料ノ輸
入税ヲ免除シテ廉イモノヲ入レヤウト云フ意味デ
變タノデアリマス、サウ致シテ是ハ外國ノ輸出スル
船舶、又内地ニ止マル船舶モ此十條ノ適用ヲ受ケルノ
デアリマス、從來外國ノ輸出ハ——實ハ十條ノ一
項ノ中ノ命令ノ一部ハ輸入税金ノ拂戻シノ命令ヲ以テ
定メテ居リマス、ソレカラ其外ニ此現行ノ第十條ノ
船舶ハ備付ケ船舶同様に輸出スルモノニ免稅シテ居
リマス、ソレガ今度ハ輸出スルモノモ、内地ニ止マル
モノモ悉ク十條ノ規定ニ依リマスノデ、現行法十條
ハ必要ガ無イノデ、ソレデ十條ヲ買換ヘマシテ、今回
ノヤウナ規定ニ致シマシタ、ソレカラ次ハ輸入税表
ノ改正デアリマス、是モ號ヲ逐ッテ御説明ヲシタイト
思ヒマス、一番初メニ番號ハ二十九ノ二中、木藍及甜
菜ニ改メルト云フノデアリマス、是ハ砂糖ヲ採リマ
スガ、甜菜ハ日本デモ北海道邊デ頻リニ試シテ居リ
マス、所デソレハ外國カラ種子ヲ採ッテ日本デヤルト
云フコトデアリマス、是ハ成ルベク獎勵ノ意味ヲ以
テ致シマスノデ、此木藍甜菜ノ二ツヲ加ヘタノデア
リマス、ソレヲ免除スル意味デアリマス、是ハ從來ハ
此項目ニアリマセヌ、從ッテ其項目ノ中、藥用ノモノ
ヲ除キ一割五分掛ッテ居ッタノヲ、今度全部無料ニナ
ルノデアリマス、次ハ百十號ノ四圓五十錢トアルノ

ガ十二圓ニナリマス、其次ハ一圓七十錢ノヲ五圓ニ
改メルト云フノデ、百十號ハ七割、百十號「オレイ
ン」ガ七割、此「オレイン」ハ輸出工業ノ油類デ「オレイ
ン」グリッスリント云フモノガゴザイマス、是ハ主タル
問題ハ「グリッスリン」問題デ、此項目ニ這入ッテ居リマ
セヌ、「グリッスリン」事業ニ付テハ戰爭ノ始マツタ當
時、染料其他藥品ナド、共ニ内地ニ於テモ「グリッス
リン」工業ヲ發達サセル必要ガアルノデ、何トカ是ハ獎
勵シナケレバナラヌト云フコトデ、ドウシテモ「グリ
スリン」ノ關稅ヲ廢メタラドウカト云フ議論ガアリ
マシタ、日本ニハマダ當時ニ於テハ發達シテ居ラヌ
事業デアリマスガ、將來ドレホドニ發達シ得ル見込
ガアルカト云フコトハ、技術上ノ問題デアリマス、又
「グリッスリン」ト云フモノハ染料トシテ必要デアリマ
スガ、主モノニ使ハレルノハ「ダイナマイト」デアリマ
ス、「ダイナマイト」ノ價格ヲ續ゲルト云フコトハ考
ヘモノデアリマシテ、關稅ノ方法ニ依ラナイデ、製造
會社ニ對シテ利益ヲ保障シテヤル方法ヲ執リマシ
テ、現ニ其會社ガ出來テ居ル次第デアリマス、サウ云
フ關係デ「グリッスリン」會社ガ出來テ居リマス、ソレ
ハ段々事業モ進歩イタシ、技術上ニ於テモ段々進歩
シタモノガ出來テ居リマスガ、唯今ノ所ハ如何セム、
經濟狀態ガ甚ダ惡イノデ、マダ此事業ノ保護機關ハ
四年バカリ續キマスガ、此事業ハ何時マデ保護シテ
行クカト云フト、實際會社ガ損失ヲ招イテ居ルト云
フト、ドウカシテ多少經濟上オツツカツノ所マデ行
クヤウニシナケレバナラス、ソレデナイト同ジヤツテ
モ當業者カラ致シテモ成ル程會社ト云フモノハ、政
府ノ補助ヲ受ケテ居ッテモ、事業ハ何時マデモ缺損デ
アルト云フコトハ、甚ダ獎勵ノ意味ニ適ハナイノデ、
ソレヲ何トカシテ、今少シ成立ツヤウニシタイ、然ル
ニ今申シタヤウニ「グリッスリン」ト云フモノノ關稅ニ
付テハ「ダイナマイト」ノ關係ガアリマス「ダイナマ
イト」ヲ使用スルモノハ鑛山事業デアリマスガ、鑛山
事業ガ今日ノヤウナ狀態デアリマス、甚シク弱ッテ
居ル、殊ニ向ウデモ銅トカ石炭トカ云フモノハ皆甚
シキ狀態ニ居リマス、此際ソレト同時ニ一面ニ稅ヲ
上ゲルト云フコトハ、成ルベク控ヘルコトガ出來レ

バ、控ヘタイト考ヘマス、又「グリスリン」ノ關稅ト云フモノハ、ナマヤサシイ保護デ成立テバ格別デアリマスガ、現在ノ計算カラ見レバ、今ノ關稅ヲ餘程高イ税金ニシナクテハ、チヨット計算ガ取レナイヤウニナツテ居リマス、其際デアリマスカラ、此改正案ハ「グリスリン」ハ此保護ヲ受ケマセヌ、併ナガラ「グリスリン」ト同時ニ造ル「オレイン」ト云フモノ、側面カラ此事業ヲ保護スル、是ハ油ノ百斤カラ致シテ今「グリスリン」ノ出テ居ルノガ七斤半デアリマス、ソレカラ「スチアリン」ハ是ト違フヤウニ見エマスガ、四十斤以上「フォルマリン」ハ五十斤デアリマス、ソコデ「グリスリン」「スチアリン」ノ價格ハ略同ジヤウニ似テ居リマス、實ハ「グリスリン」工業ト云フモノ、經濟ノ上カラハ「オレイン」ハ捌ケ口ガ良クナイノデ、斯ウ云フ値段ニ行カナケレバ「グリスリン」工業ハ長ク成立タヌノデアリマス「グリスリン」ノ方ハ七割八割「オレイン」ノ方ハ數十斤取ルト云フ考デアリマス、先ヅ此方面ヲ上ゲル、此方面ヲ上ゲレバ影響スル所ガ少イ、今ノ鑛山の關係ノ「ダイナマイト」ヲ引上ゲルコトハ、非常ナ關係ガ起ランデ濟ムト云フ意味カラ「スチアリン」「オレイン」ノ方ノ税金ヲ引上ゲル斯ウ云フ見當ヲ付ケマシタ、此「スチアリン」ハ主トシテ蠟燭ノ材料デアリマシテ「オレイン」ハ髮ノ油ヲ洗フ時ニ使フモノデアリマス、ソレデ「スチアリン」ノ競争品ト致シマシテ「バラフィンワックス」ト云フモノガゴザイマス、是ハ御承知ノコトデゴザイマセウガ石油ヲ取リマス際ニ最後ニ取レルモノトシテ取レルノデアリマス、是ハ蠟燭ノ中ニ多量ニ現在ニ於テハ混ゼラレテ居リマス、一體ハ「スチアリン」デ蠟燭ヲ造ルガ宜イノデアリマスガ、「スチアリン」ガ高イ爲ニ「バラフィン」ヲ使フ、「バラフィン」ヲ使フ結果曲リ易クナツテ蠟燭ニ火ヲ燃シテ居ルト曲ル、夏ナドハ直キ曲ツテシマフ、或ハ火ヲ燈サズトモ蠟燭ガ「グニヤ」ニナルノハ「バラフィン」ガ澤山使ハレテ居ル爲メデ、惡イ蠟燭ト云フ意味デアリマス、「スチアリン」ノ用途ヲ廣メマスニハ「バラフィン」ト競争ニナリマスカラ「バラフィン」ノ稅モ上ゲテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ意味ヲ以テ「スチアリン」ト共ニ

「バラフィン」ノ稅ヲ上ゲタ次第デアリマス、此「バラフィン」ニ二ツアリマシテ「融解點攝氏四十五度ヲ超エサルモノ」無稅「其ノ他」ヲ今度上ゲタノデ、無稅ノ方ハ「マツチ」ノ軸木ニ塗リマシテ、火ヲ引キ易イモノニスルノデアリマス、融解點ノ低イモノデアリマス、此方ハ從來カラ「マツチ」事業ノ爲ニ無稅ニシテ居リマス、是ハ「スチアリン」トノ競争品デナイノデアリマシテ、蠟燭ナドニ使フノハ今少シ融解點ノ高イモノデ、之ニ稅ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、是ガ「スチアリン」ニ對スル大體ノコトデアリマス、次ニハ一六三デ、七十錢ヲ一圓五十錢ニ改メル、是ハ曹達工業デアリマス、苛性曹達、苛性加里ヲ主トスルモノデアリマス、苛性加里、苛性曹達ハ始終同ジヤウナモノデ、同ジヤウニ取扱ハレマスルカラ一絡ニヤツテ居リマス、苛性曹達ハ戰時中ニ新シク起リマシタ事業デゴザイマス、大分發達シタノデアリマス、併ナガラ經濟ノ點ニ於キマシテ及バヌ事情ガアルヤウデアリマス、是モ此前ノ議會ナドニ於キマシテモ、何トカ早クヤルヤウニト云フ話ガアリマシテ、之ヲハ粗製ノモノ七十錢ト云フノヲ一圓五十錢ニ上ゲタ、精製ノモノハ精製シタ藥品デアリマシテ、是ハ別ニ問題ニハナリマセヌ、是ハ大概一圓五十錢位ニ引上ゲタナラバ内地ノ生産ニ突合フダラウト云フコトデアリマス、次ハ「曹達灰及天然曹達」是ハ從來ハ「炭酸曹達」「曹達灰」「其ノ他」トナツテ居リマシタ所ガ、此曹達灰ト云フモノ、天然曹達ト申シマスモノハ自然ニ地中カラ浸出シテ來ルモノヲ取ルモノデアリマスカラ、結局ハ之ヲモウ一遍燒キマシテ曹達灰ニシテ使フカ、或ハ其儘曹達灰ノ代リニ使フカ、要スルニ曹達灰トシテハ扱ハヌ、寧ロ曹達灰ハ兎モ角一旦工程ヲ經マシテ、火ニ掛ケテ灰ニシタモノデ、天然曹達ハ自然ニ出テ來ル川途ハ同ジ關係デアアル原料品デアリマス、是ハ從來カラ問題ニナツテ居リマス、曹達灰ト同様ノ扱ヒヲシヤウト云フコトニ致シマシテ此書キ方ヲ變ヘマシタノデアリマス、此曹達灰、天然曹達ト云フモノハ、カウ云フ自然物デアリマス、成分ガ多少區々ニナツテ居リマス、其結果現在ノ關稅法デハ天然曹達ニ當ルモノガナイノデアリマス、ソレデ或部分ハ二二九號

ノ「別號ニ掲ケサル藥材」ト云フヤウナ所ニ持ッテ參リマシテ、或ハ二一五號ノ第一項ニ依リマシテ、或ハ二二九號ニ依テ課稅スルト云フ色々方々ニ跨ツテ課稅シテ居リマシタ、今度ハ此處ニ纏メテ課稅スル、是ハ天然物カラ來ルモノデアリマス、又曹達灰ト云フモノモ同様ニナツテ居リマス、又「過酸化曹達」モ同様デアリマス、矢張り是ハ曹達事業デアリマス、是モ内地ニ當時出來カケテ居リマス、是ハ四圓六十錢ノ所ヲ十五圓六十錢ニ致シテ内地ノモノヲ維持サセヤウト云フノデアリマス、次ハ「安息香酸曹達」「硫酸」「コカイン」是ハ醫藥デアリマス、硫酸「コカイン」「鹽酸」「コカイン」是ハ醫藥デアリマス、此硫酸「コカイン」ト云フモノハ、元ノ稅ニハ鹽酸「コカイン」「硫酸」「コカイン」ト一口ニ十九圓三十錢トナツテ居リマス、此度ハ鹽酸「コカイン」ダケヲ他ノ藥品並ニ三割五分ニ引上ゲタ、又安息香酸曹達モ同様ノ意味合デアリマス、元ハ從價二割デアッタモノヲ引上ゲルノデアリマス、次ニ「二五九」「石炭タール」「アスファルト」ノヤウナモノデ「瀝青」又ハ土瀝青ノ製品ニシテ道路修築用ノモノ「是ハ能ク近來這入ッテ參リマスルモノデ」「タール」「石炭タール」是ハ能ク近來這入ッテ參リマスルモノデ「石炭タール」ニ何カ多少ノモノヲ混ゼマシタリ幾ラカノ工程ヲ加ヘマシテ、道路ニ敷キマスルドロノ黒イヤウナモノデアリマス、是ハ道路修築用トシテ澤山這入ッテ參リマス、品質カラ申シマシテモ殆ド「タール」ト餘リ選バナイヤウナモノデアリマス、從來ノ課稅ノ上ニ於キマシテ、石炭「タール」ハ無稅ニナツテ居リマス、其ノ他ノモノニ於キマシテハ先ヅ二七〇、斯ウ云フ種類ノモノハ其性質カラ申シマシタモ石炭「タール」ト殆ド大差ノナイヤウナモノデアリマス、用途カラ申シマシテモ成ルベク斯ウ云フモノハ廉ク入レサセタイト云フ考カラシテ、之ヲ石炭「タール」ト同ジヤウニ無稅ニ致シマシタ、ソコデ二五九ノ二ハ終リマシタ、次ニ四一八、是ハ一番終ヒノ六一九ノ二ト云フノニ、「白金」又ハ「白金鹽類」ヲ含ム媒觸劑「無稅ト云フノヲ加ヘテ居リマス、ソレデ是ハ從來ハ四一八號ノ「別號ニ掲ケサル石絨製品」一塊粉及纖維狀ノモノ（白金粉ヲ有スルモノヲ含

ム)無稅ト斯ウアリマシタノデアリマス、此白金粉ヲ有スルモノト云フノハ、今度ハ六・九・二ニ持ッテ參リマシテ「白金又ハ白金鹽類ヲ含ム媒觸劑」トシテ獨リ此石絨ト混和シタモノトシテノミナラズ總テ媒觸劑ヲ六・九・二置イテ此方面カラシテ此項カラソレヲ除キマシタノデアリマス、唯條文ノ整理ノ關係デ後ヘ持ッテ行ッタルデアリマス、四六二、是カラ鐵ノ問題デアリマス、鐵ニ付キマシテハ、是ハ政府ニ於キマシテモ臨時經濟調查會ニ付議イタシテ居リマス、長イ間掛ッテイロ、調査ヲ致シマシテ其答申ガ二月十四日ニ出來マシテ、其大體ノ趣旨ニ依ッテ大體此鐵ノ關稅ハ先ヅ原則トシテ從價一割五歩ヲ掛ケテ行ク、ソレカラ從來ソレ以上二割ト云フ課稅モ致シタモノガアリマスカラ、サウ云フモノハ、此際下ゲル必要ハナイカラ二割ヲ掛ケル、大體ハ從價一割五歩、又鐵ト申シマシテモ塊及錠ト云フヤウナ型ヲ備ヘタモノハ、是ハ從價一割ヲ宜カラウト云フコトニ致シマシタ、是ハ大體經濟調查會ニ掛ケテ決議トシテ決メタ譯デアリマス、特ニ御斷リヲシテ説明シナケレバナリマセヌノハ、甲ノ銑鐵ト云フノデゴザイマス、是ハ鐵ノ輸入ヲ見マシテ銑鐵ハ甚ダ多量ニ輸入セラルルモノデアリマシテ、鐵トシテ出シマシタバカリノモノデアリマス、是ニモ矢張り從價一割程度ノ稅ヲ掛ケテ内地ノ鐵ノ精鍊事業ヲ保護シタイト云フ希望ガ財政經濟調查會ニモ出テ居リマス、併ナガラ其銑鐵ニ付マシテハ日英ノ間ニ稅率ノ協定ガアリマシテ、百圓ニ付一圓三十錢ト云フコトニ協定シテ居リマス、之ニ諸外國ノ條約國ハ大體ニ於キマシテ最惠國約款ヲ持ッテ居リマシテ皆之ニ均霑イタシマス、條約國デ最惠國約款ノナイ國ハ支那ダケデアリマス、ソレデ此際關稅率ヲ引上ゲルト云フコトニスルト其適用ヲ受ケタルモノハ何カト云フト支那產ノ銑ダケデアリマス、支那カラ來ルノハ何カト云フト製鐵所ナドヘ參リマス、大冶ノ鐵、若クハ滿洲ニ於テ鞍山站、本溪湖等ニ於ケル何レモ日本人ガ直接ニ經營シテ居ルモノ若クハ日本人所有ノモノノミデアリマス、是ガ從價一割ノ稅率ヲ掛ケラレルト云フト歐米カラ參リマスルモノハ協定ニ依ル稅率ヲ掛ケルコトニナル、此間ニ

區別待遇ヲスルト云フコトハ面白クナイ、斯ウ政府ハ考ヘタノデアリマス、銑鐵ノ關稅ヲ改正スルト云フコトハ、今ノ時機デナケレバナラヌコトニナル、協定ガ決ッテカラデナケレバ、今稅ヲ上ゲテモ實行ガ出來ナイ、強イテ實行スレバ妙ナ片手落ナモノニナル、斯ウ云フノデ銑鐵ノ關稅ノ改正ハ今回ハ見合セタルデアリマス、ソレカラ此條約ノ存續期間中デモ何レガ一方ノ政府ガ此協定稅率ヲ修正イタシタイ、斯ウ云ウ希望ヲ持チマス、ト云フト何時デモ相手方ニソレヲ申込ムコトガ出來ル、ソレヲ申込ミマシタ際ニハ相手方ハソレニ應ズルカ否ヤト云フ問題デアリマシテ、六箇月間其修正ガ同意イタサレナカッタ場合ニハ其後一箇月以内ニ何時デモ協定稅率ノ廢棄ヲ相手方ニ申込マレルノデアリマス、ソレハ六箇月ノ豫告ヲ以テ廢棄スルコトヲ申込ムコトガ出來ルノデアリマス、其申込ニ相手方ガ應ズレバ問題ハナイノデアリマスガ應ジナカッタ場合ニハ一年ト一箇月デ詰リ廢棄ノ意思ヲ發表スレバ協定ノ廢棄ガ出來ルノデアリマス、併シ最初ノ協定ハ是ハ種々ノ物品ヲ協定シテ居リマスガ、其中デ例ヘバ銑鐵ノ協定ヲ改メタイト云フヤウナ部分的ノ修正デアリマスカラ、ソレハ申込マレルノデアリマス、併シ若シソレガ應ジマセヌ時ハ廢棄ヲスルノハ銑鐵ノ稅率ダケヲ廢棄スルト云フ譯ニハ參リマセヌ、是ハ條約ニ依ッテ協定サレテ居リマスル協定全部ノ廢棄ニナリマス、其關係カラシテ日英協定ニ付テハ日本カラ行ク生絲デアルトカ、其他各種ノ物品モ加ハッテ居リマス、羽二重デアルトカ、サウ云フヤウナモノガ皆一一ニ廢棄サレルコトニナリマス、ソレデ果シテ此修正ヲ申込ムカドウカト云フコトニ付テハ考慮中デアリマシテ、何等決定イタシテ居リマセヌ、サウ云フヤウナ狀態デアリマス、ソレカラ次ニ鐵ノ項目ハ澤山アリマスコデ、四百六十七ガ亞鉛デアリマスガ、是ダケヲ拔キマシテ鐵關係ノモノヲチヨット申上ゲマス、次ガ四百七十七ガ「リベット」其他釘類、ソレカラ四百七十九金屬鋼、四百八十二鐵道建設用材料、四百八十三迄ガズツ鐵關係ノモノノミデアリマス、ソレカラ仕舞ノ六百五機械部分品、是ガ鐵關係ノモノデアリマス、次ニ鐵製

品ノ類別ガアリマス、此中ノ品物デアリマス、大體ニ於キマシテ鐵ガ斯ウ云フ風ニ税金ガ引上ゲラレル、サウ致シマス、ト云フト最初ニ斯ウ云フモノヲ材料ニシテ釘ヲ造ッテ居ルトカ、イロ、此處ニ掲ゲマシタヤウナ鐵製品若クハ鐵ヲ用ヒル機械類ト云フヤウナモノ或ハ其他ノモノヲ澤山製造イタサレテ居リマス、是ガ原料ガ皆高クナリマス、原料ガ皆高クナリマスト今度ハソレヲ製造シテ居ル人ハ、外國カラ來ルモノニ對シテソレダケノ不利益ヲ被ム譯デアリマス、尤モ此鐵製品若クハ機械製造ト云フヤウナコトニ付テハ、是ハ實ハモット根本的ニ改正シナケレバナラナイノデアリマス、ソレデ機械ノ關稅ハ如何ニスベキカ、機械ガ果シテ今ノ關稅デ内地ノ機械ノ製造事業ヲ保護スルノニ十分デアルカ、或ハ又其ノ中デマダ迎モ日本デ出來サウモナイモノ、或ハ更ニ稅率ノ度ヲ安クシテ外國品ヲ取ルガ宜イノデアルカドウカト云フヤウナコトニ付テ、別ニ是ハ考ヘナケレバナラヌ點デアリマス、併ナガラ此調査ハ中ニ是亦一ツノ大事業デアリマス、ソレデ前以テ申シタヤウニ此關稅定率法ノ改正ト云フモノハ、實ハ全部改正ト云フコトハ相當ニ他ノ點ニ於キマシテモ餘ホド考ヘナケレバナラヌ點ガアリマスカラ、政府ニ於テハ考慮中デアリマス、免モ角モソコ迄調査ガ附ク迄ト云フコトデ、鐵ノ問題ナドモ抛ッテ置クト云フコトデモ時機ヲ失スルコトデアル、ソレデ此際免モ角モ此鐵ノ原料ノ上ツタ影響ヲ受ケル程度ニハ其影響ヲ受ケル程度ノ關稅ヲバ、製品ノ方ノ關稅ニ於テ引上ゲテ置ク、サウ致シマス、鐵ノ稅金ヲ上ゲタカラト云フテ、ソレガ爲メニ機械其他ノ方ガ打撃ヲ受ケルト云フコトモナクシテ權衡ヲ得ラルル、斯ウ云フ意味合ヲ以テマシテ釘以下金屬鋼ヲ皆多少宛引上ゲテ居リマス、尤モ殆ド製鐵工場ニ於キマシテ同時ニ造ルヤウナ物品モ、正式ニ分類イタシマス、例ヘバ「レール」ノ類トカ其他二三ノモノガアリマス、斯ウ云フモノハ或ハ今迄重量稅デアッタノガ從價稅ニ此際改メテ鐵仲間ニシタノモアリマス、併ナガラ大體ニ於キマシテ鐵製品及機械部分品ト云フヤウナモ

ノハ、從價稅率ニナツテ居リマス……イヤ重量稅率ニ
ナツテ居リマス、ソレデ鐵ノ外ハ從價稅ニナリマシ
タ、之ヲ如何ニシテドノ程度迄引上ゲタナラバ權衡
ヲ得クルカト云フコトハ、是ハ計算ヲ仕出サナケレ
バナラナイ、是ハ大體斯ウ云フ方針ヲ以テ計算イタ
シタノデス、詰リ是等ノ物品ヲ造ルノニ用ヒラル、
材料ハ何デアアルカ、例ヘバ釘ト云ヘバ釘ヲ造ル材料
ハ主トシテ鐵ノ線デアアルト致シマス、其線ノ稅
金ガ幾ラ、サウシテ釘ヲ百斤造ルニハ線ハ幾ラ使用
サル、カ、例ヘバソレガ一割ノ「ローズ」ガ出ルト致
シマス、レバ百斤要ル、サウスルト百斤ニ對シテ
線ノ方ノ稅金ヲ引上ゲラレタ、其ノ引上ゲラレタ關
稅ヲ釘ノ所ヘ持ッテ來テ、ソレダケ加ヘテ來タ、ト云
フヤウナ方法デアリマス、總テ其計算デ其稅率ヲ動
カシテ居ルノデアリマス、一品一品ニ付テハ餘リ煩
瑣ニナリマス、スルカラ、一例ヲ以テ申上ゲルコトニ致
シテ置キマス、是ハ鐵ノ關係デアリマス、サウ云フ風
ニ鐵ガ改マリマシタガ、主トシテ鐵ヲ以テ製造ス
ル……鐵ヲ以テ材料ト致シマスモノハ斯ウ云フ風ニ
稅金ヲ改メマシタ、而シテ其中デ殊ニ船舶ノ材料ニ
付キマシテハ是ハ前申上ゲマシタ、ソレカラ次ハ今
拔カレマシタ亞鉛ノコトデアリマス、「四六七」ノ「亞
鉛、一塊錠及粒」ハ、每百斤三圓ニ改メマシタ、今迄ハ
七十錢デス、亞鉛製造ハ戰時中起リマシタ、ソレ以前
ニモ日本ニ鑛石ガ出マスケレドモ、鑛石ノ儘獨逸ニ
輸出サレマシタ、外國デ以テソレヲ製造シテ亞鉛華
其他ノモノニシテ日本ニ輸入サレテ、日本デハ全然
精煉サレナイ、デ鑛石ヲ輸出スルト云フヤウナ狀態
デアリマス、戰時中是ハ軍需品ノ關係カラモ非常ニ
需要ガ多イモノデアリマシタ、價格ナドモ暴騰イタ
シマシタソレデ日本ニ於キマシテモ非常ニ到ル處ニ
亞鉛精煉事業ガ起ッタノデアリマス、勿論日本ノ亞鉛
鑛石バカリデハナイ、濠洲方面カラモ買約定ヲ致シ
マシタ、又支那方面カラモ支那ノ葉錢、穴明錢、アン
ナモノヲ日本ニ持ッテ來マシタ、ソレヲ溶カシテ其中
カラ亞鉛ヲ採ッテ、ソレヲ外國ニ賣ルトカ云フヤウナ
コトデ、非常ニ澤山亞鉛ノ精煉工場ガ起ッタノデアリ
マス、是ガ段々戰爭モ終熄イタシテ、亞鉛ノ價格ガ又

元、通り安クナツテ一面ニハ内地ノ石炭デアルトカ
何トカガ、非常ニ高クナツテ來テ、濠洲アタリノ亞鉛
鑛石ト云フモノハ、之ヲ自由ニ日本ニ持ッテ來ルコト
ハ出來ナクナル、運賃ハ非常ニ高クナル、各種ノ關係
ガ皆一度ニ參リマシテ、亞鉛ノ工場ト云フモノハ大
部分ハ既ニ閉鎖シテ仕舞ッタノデアリマス、現在殘
テ居リマスノハ、日本デ以テ稍、優良ナル鑛石ヲ有ッ
テ居リマス……鑛山ヲ自分デ持ッテ居ル所等ガ、僅ニ
其命脈ヲ繋イデ居ルノデアリマス、ソレヲ申シマス
レバ三井ガ大牟田、龜岡ノ鑛山ヲ有ッテ居リマス、是
ハ普通ノ亞鉛デアリマス、ソレカラシテ高田ガ、高田
工場等ニ於キマシテ電氣亞鉛ノ製造ヲヤツテ居リマ
ス、大體ソレ位ニナツテ仕舞ッタ、ソレデ一時ハ非常ニ
日本ノ需要ドコロデハナク外國ニモ非常ニ輸出ラシ
テ居ッタガ、スッカリ屏息シテ仕舞ッタ、今デハ日本ノ
需要ノ半額位ヨリ出ナイ譯デアリマス、是モ抛ッ
キマシタナラバ更ニ損失ヲ重ネルダラウト云フヤウ
ナ狀態デアリマス、是ガ爲メニ亞鉛工業ヲ何トカシ
テ維持サシタイ、是モ戰時中ハ軍需工業ト致シテ必
要ナル事業デアリマス、又他ノ工業ニ對シマシテモ
原料品ニ使ハレルモノデアアル、何トカシテ折角起リ
カケタ事業ダカラ、セメテ維持サシタイ、斯ウ云フ
ガ趣旨デアリマス、ソレデ大體計算ヲ致シマシテ、普
通亞鉛ヲ標準ト致シマシテ計算シタノデアリマス、
先ヅ每百斤三圓位ノ平均關稅ヲ置イテ、内地ノ事業
ヲ成立ツヤウニシタイ斯ウ云フコトデアリマス、三圓ニ
シマシタ、前カラ致シマス、約四倍バカリノ増加ニ
ナツテ居リマス、私ニ此亞鉛ノ板ガ輸入サレルノデア
リマス、是ハ前申上ゲマシタヤウニ極ク薄イ板デ燐
寸ノ包裝用ニ使ハレルノデアリマス、是ハ從前カラ
モ無稅ニシテ居リマス、前ニ第七條ノ說明ノ時ニ申
上ゲマシタヤウニ、是ハ矢張り無稅ニシテ置イタ方
ガ輸出品ノ輸出獎勵ト云フコトガ、此戰後ニ於キマ
シテハ殊ニ重大ナ必要ガアル、其他ノモノハ先ヅ大
體ニ於テ原料デ、製品ハ百斤ヲ造リマスノニ原料百
斤位要ルモノダサウデアリマス、其中其ノ關係カラ
申シマシテ原料ヲ稅金ニ相當スル稅金高ヲ三圓三十
錢ト云フモノニ改メマシテ、是ハ前ニハ二圓十錢デ

アリマス、コレガ保護ガ薄クナツタヤウデアリマス
ガ、實ハソレ程ノ必要ガナイノデアリマス、是ハ薄板
デナイ普通ノ板ト云フヤウナ物ハ三井ノ工場等ニ於
テモ併セテ造ッテ居リマス、其等モ稅率ヲ其儘ニシテ
其原料ガ騰タダケ高ク加ヘルト云フ必要ハナイト
認メテ居リマス、原料ノ稅金ハ其約合ヲトツテ稅金ヲ
出シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ次ハ木材デア
リマス、木材ノ六百十二、コレハ四月末「チーキ」材ヲ
今度無稅ニ致シマシタ、是ハ申ス迄モナク「チーキ」
ハ殆ド全部軍艦ノ建造ニ使ハレルノデアリマス、第
十條ニ於キマシテ船舶ノ建造ヲ致シ又ハ修繕ニ使用
スル物品トシテ輸入稅ヲ免除スルコトガ出來ル法案
ニナツテ居リマス、此方デモ「チーキ」材ヲ免稅シテモ宜シ
イノデアリマス、コレハ一般ニハ稅金ヲ課ケナケレ
バナラス、例ヘバ鐵鑛材ノ如ク保護ノ必要アル立場
ノ上ニ於テモ動カスコトガ出來ナイケレドモ、特ニ
此用途ニ使フモノダケハ免除シヤウト云フノガ此十
條等ノ免稅ノ規程デアリマス、「チーキ」材ノ如キハ
殆ド船舶以外ニハ使ハレナイモノデアリマシタ、コ
レハ頭カラ免稅シテ宜シイ、寧ろ其方ガ宜イノデア
リマス、ト云フコトデ「チーキ」材ヲ免稅ニシタノデアリ
マス、是ガ此法案ノ大體ノ說明デアリマス、尙此法律
ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メルト云フコトニ
ナツテ居リマス、コレハ成ル可ク斯ウ云フ關稅率法ノ
如キハ成立イタシマス、レバ餘リ長イ期間ヲ置カナ
イデ施行イタシタイ積リデアリマス、併ナガラ今度ノ
改正ノ中ニハ、之ヲ實際ニ取扱フモノハ原料デアリ
マシテ相當準備ヲ要シマス、從量稅ナラバ宜シイケ
レドモ從價稅ナゾニナリマス、ト相當ノ調査モシナ
ケレバナラス關係モアリマス、ソレ等モアリマ
シテ實行上ノ方面カラ勅令ヲ以テ定メルト云フコト
ニ致シテ居リマス、コレハ重ネテデハアリマス、大體
ドモ成ル可ク速ク施行シタイ積リデアリマス、大體
サウ云フヤウナ譯デアリマシタ、尙御質問ニヨリマ
シテ御答ヘ致シマス

○委員長(服部一三君) 如何デスカ御質問ガアリマ
スレバ……御質問ヲ續ケマセウカ御考ニ依ッテ明日
ニ致シマス、皆サン是デ十分御解リニナツテ御質問ナ

ケレバ散會イタシマス、今日ハ大分缺席サレタ方モアリマスカラ、其方々モ或ハ御質問ナサレタイ點モアルカモ知レマセヌ、今日コレ決シテ了フノハチヨット皆サンノ意見ヲ何シテモ惡イト思ヒマスカラ、モウ一度ハ開イタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、皆サン是デ宜シケレバ……、ソレデハ明日トシテ今日ハ是デ會ヲ閉ヂマス

午後四時十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 服部 一三君
副委員長 男爵船越 光之丞君
委員

子爵前田 利定君
男爵村上 敬次郎君
黒岡 帶刀君
荒井 賢太郎君
男爵小早川 四郎君
男爵赤松 範一君
男爵郷 誠之助君
加藤 恒忠君
佐藤 傳兵衛君
成清 信愛君

政府委員

大藏省主税局長 松本 重威君
大藏書記官 神輓 常孝君
大藏技師 矢部 規矩治君
農商務省鑛山局長 崎川 才四郎君
農商務技師 小西 正二君
農商務技師 野間 譽雄君
遞信省管船局長 若宮 貞夫君

大正十年四月十八日印刷

大正十年四月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局